



平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況 (非連結)

平成20年1月31日

上場会社名 鳥居薬品株式会社

上場取引所 東証第一部

コード番号 4551

URL <http://www.torii.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松尾 紀彦

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 中村 敏則

TEL (03) 3231-6811

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第3四半期の業績 (平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	32,179	3.2	5,018	7.9	5,250	8.3	2,853	7.0
19年3月期第3四半期	31,173	△3.6	4,653	△32.7	4,846	△30.2	2,667	△31.9
19年3月期	39,576	—	5,336	—	5,591	—	3,028	—

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第3四半期	100.81	—
19年3月期第3四半期	94.25	—
19年3月期	106.99	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第3四半期	79,737	69,603	87.3	2,459.08
19年3月期第3四半期	76,802	67,244	87.6	2,375.65
19年3月期	77,542	67,590	87.2	2,387.90

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第3四半期	2,291	777	△737	38,404
19年3月期第3四半期	1,158	△3,180	△737	34,073
19年3月期	3,414	△3,437	△737	36,073

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
19年3月期	円 銭 13.00	円 銭 13.00	円 銭 26.00
20年3月期	13.00		
20年3月期 (予想)		13.00	26.00

3. 平成 20 年 3 月期の業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

業績予想につきましては、前回発表 (平成 19 年 10 月 31 日「平成 20 年 3 月期中間決算短信 (非連結)」) の予想数値を変更しておりません。

4. その他

- (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(注) 詳細は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. その他をご覧ください。

本資料に記載しております予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおります。したがって、実際の業績は、様々な要素により、これらの予想数値とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

なお、現時点において、実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。(かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。)

- ・ 薬事法その他の法令または規制の変化
- ・ 薬価の改定
- ・ 副作用の発現
- ・ 研究開発に関するリスク
- ・ 特定の製品への高い依存度
- ・ 製造の遅延または休止
- ・ 訴訟等のリスク

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

医薬品業界を取り巻く事業環境は、医療費抑制策が着実に浸透する等、引き続き厳しい状況となっております。

このような状況の下、当社の第 3 四半期における経営成績につきましては、売上高は、32,179 百万円と前年同期に比べ 1,005 百万円 (3.2%) 増加しました。これは、主力品である肝臓疾患用剤・アレルギー用薬「強力ネオミノファーゲンシー」が前年同期比 12.0%の減、蛋白分解酵素阻害剤「注射用フサン」が前年同期比 1.5%の減となったものの、「ソルバダ錠」を中心とした抗 HIV 薬が前年同期比 46.7%の増、外用副腎皮質ホルモン剤「アンテベート」が前年同期比 10.6%の増と伸長したこと等によるものです。

利益面につきましては、売上原価が 12,582 百万円 (前年同期比 4.8%増)、販売費及び一般管理費が 14,578 百万円 (前年同期比 0.4%増) となったことから、営業利益は 5,018 百万円 (前年同期比 7.9%増)、経常利益は 5,250 百万円 (前年同期比 8.3%増)、四半期純利益は 2,853 百万円 (前年同期比 7.0%増) となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第 3 四半期末の総資産は、79,737 百万円と前事業年度末に比べ 2,194 百万円 (2.8%) 増加しました。流動資産につきましては売掛金の増加等により 60,657 百万円と前事業年度末に比べ 1,656 百万円 (2.8%) 増加し、固定資産は製造設備への投資等により 19,079 百万円と前事業年度末に比べ 538 百万円 (2.9%) 増加しております。

負債につきましては、10,133 百万円と前事業年度末に比べ 181 百万円 (1.8%) 増加しました。これは、買掛金の増加等によるものです。

純資産につきましては、69,603 百万円と前事業年度末に比べ 2,013 百万円 (3.0%) 増加しました。これは、剰余金の配当が 735 百万円、四半期純利益が 2,853 百万円となったことによるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第 3 四半期末の現金及び現金同等物の残高は、38,404 百万円と前事業年度末に比べ 2,330 百万円増加しました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益が 5,220 百万円、売上債権の増加額が 1,992 百万円、法人税等の支払額が 2,542 百万円となったこと等により 2,291 百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の取得および固定資産の取得等による支出がありましたが、定期預金の払戻および有価証券の償還等により 777 百万円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払により 737 百万円の支出となりました。

3. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

税金費用については、簡便法により計算しております。

(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更

「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第 9 号平成 18 年 7 月 5 日) が平成 20 年 3 月 31 日以前に開始する事業年度に係る財務諸表から適用できることになったため、当中間会計期間から同会計基準を適用しております。

なお、この変更による損益に与える影響はありません。

4. (要約) 四半期財務諸表

(1) (要約) 四半期貸借対照表

区 分	前事業年度末 (平成 19 年 3 月 31 日現在)		当第 3 四半期末 (平成 19 年 12 月 31 日現在)		増 減		前第 3 四半期末 (平成 18 年 12 月 31 日現在)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
(資産の部)								
I 流動資産								
1 現金及び預金	8,510		6,714		△1,796		7,763	
2 キャッシュ・マネージメント ・システム預託金	20,183		29,245		9,061		18,332	
3 受取手形	4		10		6		7	
4 売掛金	15,058		17,044		1,986		16,611	
5 有価証券	10,129		3,394		△6,734		10,726	
6 たな卸資産	3,567		3,507		△60		3,517	
7 その他	1,546		740		△806		1,593	
流動資産合計	59,001	76.1	60,657	76.1	1,656	2.8	58,553	76.2
II 固定資産								
1 有形固定資産								
(1) 建物	3,777		3,702		△74		3,830	
(2) 機械及び装置	1,111		1,356		245		1,075	
(3) 土地	1,189		1,189		—		1,189	
(4) その他	370		527		157		466	
計	6,448	8.3	6,775	8.5	327	5.1	6,561	8.5
2 無形固定資産	1,109	1.4	947	1.2	△161	△14.6	1,110	1.5
3 投資その他の資産								
(1) 投資有価証券	5,016		5,046		29		5,039	
(2) その他	5,998		6,340		342		5,568	
貸倒引当金	△31		△31		—		△31	
計	10,984	14.2	11,356	14.2	372	3.4	10,576	13.8
固定資産合計	18,541	23.9	19,079	23.9	538	2.9	18,249	23.8
資産合計	77,542	100.0	79,737	100.0	2,194	2.8	76,802	100.0

区 分	前事業年度末 (平成 19 年 3 月 31 日現在)		当第 3 四半期末 (平成 19 年 12 月 31 日現在)		増 減		前第 3 四半期末 (平成 18 年 12 月 31 日現在)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
(負債の部)								
I 流動負債								
1 買掛金	4,140		4,704		563		4,562	
2 未払法人税等	1,370		1,174		△196		907	
3 賞与引当金	1,096		574		△522		564	
4 役員賞与引当金	20		23		3		15	
5 返品調整引当金	4		3		△0		4	
6 その他	2,236		2,588		352		2,424	
流動負債合計	8,869	11.4	9,068	11.4	199	2.2	8,478	11.0
II 固定負債								
1 退職給付引当金	662		633		△28		665	
2 役員退職慰労引当金	80		—		△80		74	
3 預り敷金保証金	339		339		△0		339	
4 長期未払金	—		92		92		—	
固定負債合計	1,082	1.4	1,064	1.3	△17	△1.6	1,079	1.4
負債合計	9,951	12.8	10,133	12.7	181	1.8	9,558	12.4
(純資産の部)								
I 株主資本								
1 資本金	5,190	6.7	5,190	6.5	—	—	5,190	6.8
2 資本剰余金								
資本準備金	6,416		6,416		—		6,416	
資本剰余金合計	6,416	8.3	6,416	8.1	—	—	6,416	8.4
3 利益剰余金								
(1) 利益準備金	1,297		1,297		—		1,297	
(2) その他利益剰余金								
特別償却準備金	4		3		△0		—	
別途積立金	51,980		54,230		2,250		51,980	
繰越利益剰余金	3,025		2,893		△132		2,669	
利益剰余金合計	56,307	72.6	58,425	73.3	2,117	3.8	55,947	72.8
4 自己株式	△850	△1.1	△852	△1.1	△1	0.2	△850	△1.1
株主資本合計	67,062	86.5	69,178	86.8	2,116	3.2	66,702	86.9
II 評価・換算差額等								
その他有価証券評価差額金	528	0.7	424	0.5	△103	△19.5	542	0.7
評価・換算差額等合計	528	0.7	424	0.5	△103	△19.5	542	0.7
純資産合計	67,590	87.2	69,603	87.3	2,013	3.0	67,244	87.6
負債純資産合計	77,542	100.0	79,737	100.0	2,194	2.8	76,802	100.0

(2) (要約) 四半期損益計算書

区 分	前第 3 四半期 〔自平成18年4月1日 至平成18年12月31日〕		当第 3 四半期 〔自平成19年4月1日 至平成19年12月31日〕		増 減		前事業年度 〔自平成18年4月1日 至平成19年3月31日〕	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率	金額	百分比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
I 売上高								
1 製商品売上高	30,953		31,958		1,004		39,282	
2 不動産賃貸収入	220		220		0		294	
計	31,173	100.0	32,179	100.0	1,005	3.2	39,576	100.0
II 売上原価								
1 製商品売上原価	11,944		12,533		588		15,299	
2 不動産賃貸原価	56		49		△6		75	
計	12,001	38.5	12,582	39.1	581	4.8	15,375	38.9
売上総利益	19,172	61.5	19,596	60.9	424	2.2	24,200	61.1
返品調整引当金戻入額	5	0.0	4	0.0	△1	△21.6	5	0.0
返品調整引当金繰入額	4	0.0	3	0.0	△0	△20.0	4	0.0
差引売上総利益	19,172	61.5	19,596	60.9	423	2.2	24,201	61.2
III 販売費及び一般管理費	14,519	46.6	14,578	45.3	58	0.4	18,865	47.7
営業利益	4,653	14.9	5,018	15.6	365	7.9	5,336	13.5
IV 営業外収益								
1 受取利息	50		155		105		77	
2 有価証券利息	48		50		1		66	
3 受取配当金	110		24		△86		113	
4 その他	38		49		11		59	
計	248	0.8	281	0.9	32	13.3	316	0.8
V 営業外費用								
1 たな卸資産廃棄損失	37		36		△0		49	
2 その他	16		12		△4		11	
計	54	0.2	48	0.2	△5	△9.7	61	0.2
経常利益	4,846	15.5	5,250	16.3	403	8.3	5,591	14.1
VI 特別利益	0	0.0	—	—	△0	△100.0	0	0.0
VII 特別損失								
1 転身援助特別加算金	—		—		—		61	
2 環境安全対策費	55		—		△55		55	
3 その他	34		29		△4		42	
計	89	0.2	29	0.1	△59	△66.6	158	0.4
税引前四半期(当期)純利益	4,757	15.3	5,220	16.2	462	9.7	5,434	13.7
法人税、住民税及び事業税	2,089	6.7	2,367	7.3	277	13.3	2,534	6.4
法人税等調整額	—	—	—	—	—	—	△128	△0.4
四半期(当期)純利益	2,667	8.6	2,853	8.9	185	7.0	3,028	7.7

(3) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

区 分	前第3 四半期 〔自平成18年4月1日 至平成18年12月31日〕	当第3 四半期 〔自平成19年4月1日 至平成19年12月31日〕	前事業年度 〔自平成18年4月1日 至平成19年3月31日〕
	金 額	金 額	金 額
	百万円	百万円	百万円
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
1 税引前四半期(当期)純利益	4,757	5,220	5,434
2 減価償却費	720	866	1,005
3 受取利息、有価証券利息及び受取配当金	△209	△231	△257
4 売上債権の増減額(増加:△)	△1,531	△1,992	24
5 たな卸資産の増減額(増加:△)	489	60	439
6 仕入債務の増減額(減少:△)	△844	563	△1,265
7 長期未収入金の増減額(増加:△)	525	—	525
8 未払金の増減額(減少:△)	34	△196	151
9 その他	△243	308	△138
小計	3,699	4,598	5,918
10 利息及び配当金の受取額	209	235	249
11 法人税等の支払額	△2,750	△2,542	△2,753
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,158	2,291	3,414
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1 定期預金の預入による支出	△2,000	△50	△2,000
2 定期預金の払戻による収入	—	2,050	—
3 有価証券の取得による支出	△398	—	△398
4 有価証券の売却及び償還による収入	1,299	697	1,299
5 有形固定資産の取得による支出	△971	△705	△1,152
6 無形固定資産の取得による支出	△531	△112	△604
7 投資有価証券の取得による支出	△1,588	△1,398	△1,588
8 投資有価証券の売却及び償還による収入	1,002	293	1,002
9 その他	6	1	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,180	777	△3,437
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1 自己株式の取得による支出	△1	△1	△1
2 配当金の支払額	△735	△735	△735
財務活動によるキャッシュ・フロー	△737	△737	△737
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—	—
V 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△2,760	2,330	△760
VI 現金及び現金同等物の期首残高	36,833	36,073	36,833
VII 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	34,073	38,404	36,073



2008年3月期 第3四半期決算 参考資料

I. 主な経営指標等の推移			III. 財政の状況		
1. 経営成績	P.1	1. 四半期貸借対照表	P.5,6
2. 財政状態	P.1	2. 四半期キャッシュ・フロー計算書	P.7
II. 損益の状況			IV. 設備投資の状況	P.8
1. 四半期損益計算書	P.2			
2. 製商品売上高	P.3			
3. 売上原価	P.4			
4. 減価償却費	P.4			
5. 研究開発費	P.4	【予想数値に関する注意事項】	P.8

※ 本資料の数字は、百万円未満を切捨てして表示しております。

2008年1月31日

I. 主な経営指標等の推移

1. 経営成績

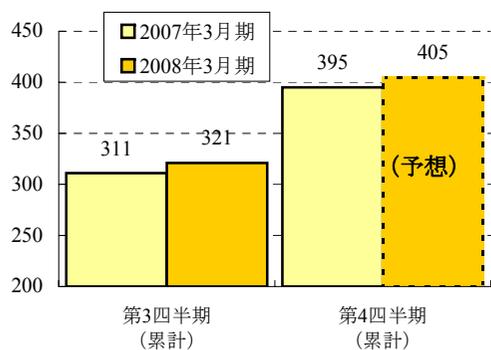
(単位:百万円)

	2007年3月期				2008年3月期		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第3四半期	対前年同期増減(率:%)	
売上高	10,171	19,978	31,173	39,576	32,179	1,005	(3.2)
営業利益	1,790	2,417	4,653	5,336	5,018	365	(7.9)
経常利益	1,889	2,560	4,846	5,591	5,250	403	(8.3)
四半期(当期)純利益	1,063	1,398	2,667	3,028	2,853	185	(7.0)
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	37.59	49.41	94.25	106.99	100.81	6.56	(7.0)
自己資本四半期(当期)純利益率 (%)	1.6	2.1	4.0	4.6	4.2	0.2	
総資産経常利益率 (%)	2.5	3.3	6.3	7.2	6.7	0.4	
売上高経常利益率 (%)	18.6	12.8	15.5	13.5	16.3	0.8	

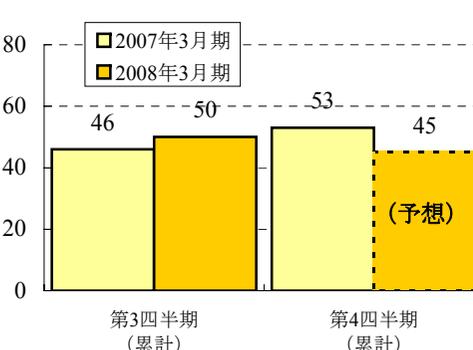
(単位:百万円)

2008年3月期予想		
	対前期増減(率:%)	
売上高	40,500	923 (2.3)
営業利益	4,500	△ 836 (△ 15.7)
経常利益	4,700	△ 891 (△ 15.9)
四半期(当期)純利益	2,500	△ 528 (△ 17.5)
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	88.32	△ 18.67
自己資本四半期(当期)純利益率 (%)	—	—
総資産経常利益率 (%)	—	—
売上高経常利益率 (%)	—	—

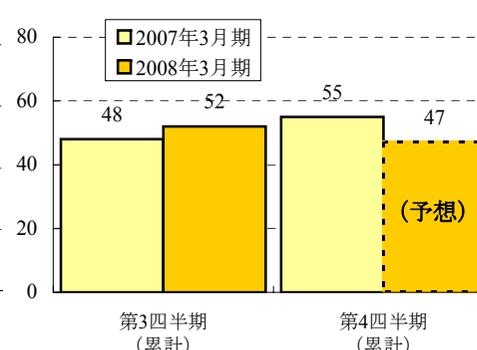
売上高(億円)



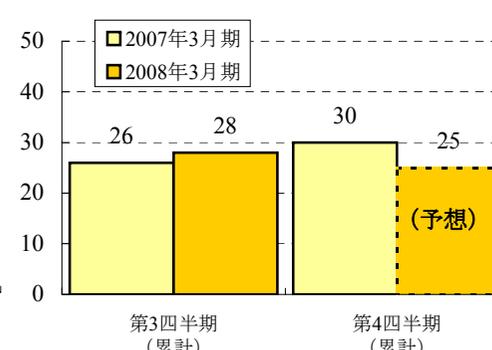
営業利益(億円)



経常利益(億円)



四半期(当期)純利益



2. 財政状態

(単位:百万円)

	2007年3月期				2008年3月期		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第3四半期	対前期末増減(率:%)	
総資産	75,739	76,082	76,802	77,542	79,737	2,194	(2.8)
純資産	65,974	66,369	67,244	67,590	69,603	2,013	(3.0)
自己資本比率 (%)	87.1	87.2	87.6	87.2	87.3	0.1	
1株当たり純資産 (円)	2,330.72	2,344.72	2,375.65	2,387.90	2,459.08	71.18	(3.0)

II. 損益の状況

1. 四半期損益計算書

(単位:百万円)

	2007年3月期	2008年3月期		2007年 3月期	対前年同期増減要因
	第3四半期	第3四半期	対前年同期増減(率:%)		
売上高	31,173	32,179	1,005 (3.2)	39,576	【製商品売上高】 《増加要因》・抗HIV薬(ツルバダ錠)、アンテベートの伸長等 《減少要因》・強力ネオミノファーゲンシー、注射用フサンの減少等
製商品売上高	30,953	31,958	1,004	39,282	
不動産賃貸収入	220	220	0	294	
売上原価	12,001	12,582	581 (4.8)	15,375	【製商品売上原価】 《増加要因》・売上高、減価償却費の増加等
製商品売上原価	11,944	12,533	588	15,299	
不動産賃貸原価	56	49	△6	75	
売上総利益	19,172	19,596	424 (2.2)	24,200	
返品調整引当金戻入額	5	4	△1	5	
返品調整引当金繰入額	4	3	△0	4	
差引売上総利益	19,172	19,596	423 (2.2)	24,201	
販売費及び一般管理費	14,519	14,578	58 (0.4)	18,865	
営業利益	4,653	5,018	365 (7.9)	5,336	
営業外収益	248	281	32 (13.3)	316	
営業外費用	54	48	△5 (△9.7)	61	
経常利益	4,846	5,250	403 (8.3)	5,591	
特別利益	0	—	△0 (△100.0)	0	【特別損失】 《減少要因》・前期環境安全対策費の計上
特別損失	89	29	△59 (△66.6)	158	
税引前四半期(当期)純利益	4,757	5,220	462 (9.7)	5,434	
法人税、住民税及び事業税 法人税等調整額	2,089	2,367	277 (13.3)	2,405	
四半期(当期)純利益	2,667	2,853	185 (7.0)	3,028	

2. 製商品売上高

(単位:百万円)

(単位:百万円)

品名	2007年3月期 第3四半期	2008年3月期		2007年 3月期	2008年3月期予想	
		第3四半期	対前年同期増減(率:%)		対前期増減(率:%)	
注射用フサン※	蛋白分解酵素阻害剤 9,181	9,045	△ 135 (△ 1.5)	11,472	11,040	△ 432 (△ 3.8)
アンテベート※	外用副腎皮質 ホルモン剤 3,784	4,185	401 (10.6)	4,922	5,500	577 (11.7)
強力ネオミノファーゲンシー	肝臓疾患用剤 ・アレルギー用薬 4,067	3,579	△ 488 (△ 12.0)	5,075	4,440	△ 635 (△ 12.5)
ユリノーム錠※	尿酸排泄薬 (痛風治療剤) 2,862	2,890	28 (1.0)	3,629	3,670	40 (1.1)
抗HIV薬 (注1)	抗ウイルス化学療法剤 1,930	2,831	901 (46.7)	2,620	3,610	989 (37.8)
(内ツルバダ錠)	(1,012)	(2,012)	(999) (98.7)	(1,444)	(2,580)	(1,135) (78.6)
ウブレチド錠※	重症筋無力症 ・排尿障害治療剤 1,629	1,605	△ 23 (△ 1.4)	2,066	2,050	△ 16 (△ 0.8)
グリチロン錠	肝臓疾患用剤 ・アレルギー用薬 1,106	1,034	△ 71 (△ 6.4)	1,396	1,260	△ 136 (△ 9.8)
ロコイド※	外用副腎皮質 ホルモン剤 878	908	30 (3.4)	1,145	1,170	24 (2.2)
セロトーン	制吐剤 863	904	40 (4.7)	1,097	1,140	42 (3.9)
ビオスリー	活性生菌製剤 (整腸剤) 835	894	58 (7.0)	1,077	1,150	72 (6.7)
その他	3,814	4,078	263 (6.9)	4,778	5,180	401 (8.4)
計	30,953	31,958	1,004 (3.2)	39,282	40,210	927 (2.4)

(注1) ビラセプト錠、ピリアード錠、エムトリバカプセル、ツルバダ錠の4剤合計であります。

(注2) 自社品には、品名に※を付しております。

【参考】 自社品売上高	19,483	19,917	434 (2.2)	24,811	25,180	368 (1.5)
自社品比率(%)	62.9	62.3	△ 0.6	63.2	62.6	△ 0.6

3. 売上原価

(単位:百万円)

	2007年3月期 第3四半期	2008年3月期	
		第3四半期	対前年同期増減(率:%)
売上高	31,173	32,179	1,005 (3.2)
売上原価	12,001	12,582	581 (4.8)
売上原価率(%)	38.5	39.1	0.6

(単位:百万円)

2007年 3月期	2008年3月期予想	
	対前期増減(率:%)	
39,576	40,500	923 (2.3)
15,375	16,000	624 (4.1)
38.9	39.5	0.6

4. 減価償却費

(単位:百万円)

	2007年3月期 第3四半期	2008年3月期	
		第3四半期	対前年同期増減(率:%)
不動産賃貸原価	26	25	△ 0 (△ 2.3)
販売費及び一般管理費	318	311	△ 6 (△ 2.1)
製造原価	375	528	152 (40.6)
計	720	866	145 (20.2)

(単位:百万円)

2007年 3月期	2008年3月期予想	
	対前期増減(率:%)	
35	33	△ 1 (△ 4.0)
427	419	△ 7 (△ 1.7)
543	814	271 (50.0)
1,005	1,268	262 (26.1)

5. 研究開発費

(単位:百万円)

	2007年3月期 第3四半期	2008年3月期	
		第3四半期	対前年同期増減(率:%)
研究開発費	1,608	1,296	△ 311 (△ 19.4)

(単位:百万円)

2007年 3月期	2008年3月期予想	
	対前期増減(率:%)	
1,765	2,084	318 (18.0)

(注) 当社は、親会社であるJTとの研究開発に係る機能分担において、主として既存品の剤形改良や追加効能等の機能を担うとともに、当社の得意とする領域の開発に参画しております。

Ⅲ. 財政の状況

1. 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	2007年 3月期	2008年3月期 第3四半期		2007年 3月期 第3四半期	対前期末増減要因
		対前期末増減(率:%)			
(資産の部)					
流動資産	59,001	60,657	1,656 (2.8)	58,553	
現金及び預金	8,510	6,714	△ 1,796	7,763	【現金及び預金】 《減少要因》・キャッシュ・マネージメント・システム預託金へ振替
キャッシュ・マネージメント ・システム預託金(注)	20,183	29,245	9,061	18,332	【キャッシュ・マネージメント・システム預託金】 《増加要因》・有価証券、現金及び預金から振替
受取手形	4	10	6	7	
売掛金	15,058	17,044	1,986	16,611	
有価証券	10,129	3,394	△ 6,734	10,726	【有価証券】 《減少要因》・金融商品の償還・解約
たな卸資産	3,567	3,507	△ 60	3,517	【その他】 《減少要因》・未収入金・前払費用の減少
その他	1,546	740	△ 806	1,593	
固定資産	18,541	19,079	538 (2.9)	18,249	
有形固定資産	6,448	6,775	327 (5.1)	6,561	
建物	3,777	3,702	△ 74	3,830	
機械及び装置	1,111	1,356	245	1,075	【機械及び装置】 《増加要因》・製造設備等の取得
土地	1,189	1,189	—	1,189	【その他】 《増加要因》・製造設備等の取得(建設仮勘定)
その他	370	527	157	466	
無形固定資産	1,109	947	△ 161 (△ 14.6)	1,110	
投資その他の資産	10,984	11,356	372 (3.4)	10,576	
投資有価証券	5,016	5,046	29	5,039	
その他	5,998	6,340	342	5,568	【その他】 《増加要因》・長期前払費用の増加
貸倒引当金	△ 31	△ 31	—	△ 31	
資産合計	77,542	79,737	2,194 (2.8)	76,802	

(注) キャッシュ・マネージメント・システムとは、JTグループにおける国内グループ会社を対象とした資金の一元管理を目的とするシステムです。

(単位:百万円)

	2007年 3月期	2008年3月期 第3四半期		2007年 3月期 第3四半期	対前期末増減要因
			対前期末増減(率:%)		
(負債の部)					
流動負債	8,869	9,068	199 (2.2)	8,478	
買掛金	4,140	4,704	563	4,562	【買掛金】 《増加要因》・商品等仕入時期の差異
未払法人税等	1,370	1,174	△ 196	907	
賞与引当金	1,096	574	△ 522	564	【賞与引当金】 《減少要因》・年末賞与支給による取崩し
返品調整引当金	4	3	△ 0	4	
その他	2,256	2,612	355	2,439	【その他】 《増加要因》・預り金(社会保険料、源泉所得税等)等の増加
固定負債	1,082	1,064	△ 17 (△ 1.6)	1,079	
退職給付引当金	662	633	△ 28	665	【役員退職慰労引当金】 《減少要因》・役員退職慰労金制度廃止に伴う取崩し
役員退職慰労引当金	80	—	△ 80	74	
預り敷金保証金	339	339	△ 0	339	
長期未払金	—	92	92	—	【長期未払金】 《増加要因》・役員・執行役員退職慰労金制度廃止に伴う打切り支給相当額
負債合計	9,951	10,133	181 (1.8)	9,558	
(純資産の部)					
株主資本	67,062	69,178	2,116 (3.2)	66,702	
資本金	5,190	5,190	— (—)	5,190	
資本剰余金	6,416	6,416	— (—)	6,416	
資本準備金	6,416	6,416	—	6,416	
利益剰余金	56,307	58,425	2,117 (3.8)	55,947	
利益準備金	1,297	1,297	—	1,297	
その他利益剰余金					
特別償却準備金	4	3	△ 0	—	
別途積立金	51,980	54,230	2,250	51,980	
繰越利益剰余金	3,025	2,893	△ 132	2,669	
自己株式	△ 850	△ 852	△ 1 (0.2)	△ 850	
評価・換算差額等	528	424	△ 103 (△ 19.5)	542	
その他有価証券評価差額金	528	424	△ 103 (△ 19.5)	542	
純資産合計	67,590	69,603	2,013 (3.0)	67,244	
負債・純資産合計	77,542	79,737	2,194 (2.8)	76,802	

2. 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2007年 3月期 第3四半期	2008年3月期 第3四半期		2007年 3月期
			対前年同期増減	
税引前四半期(当期)純利益	4,757	5,220	462	5,434
減価償却費	720	866	145	1,005
受取利息、有価証券利息 及び受取配当金	△ 209	△ 231	△ 21	△ 257
売上債権の増減額(増加:△)	△ 1,531	△ 1,992	△ 461	24
たな卸資産の増減額(増加:△)	489	60	△ 429	439
仕入債務の増減額(減少:△)	△ 844	563	1,407	△ 1,265
利息及び配当金の受取額	209	235	25	249
法人税等の支払額	△ 2,750	△ 2,542	207	△ 2,753
その他	316	112	△ 204	538
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,158	2,291	1,132	3,414
定期預金の預入による支出	△ 2,000	△ 50	1,950	△ 2,000
定期預金の払戻による収入	—	2,050	2,050	—
有価証券の取得による支出	△ 398	—	398	△ 398
有価証券の売却及び償還による収入	1,299	697	△ 601	1,299
有形固定資産の取得による支出	△ 971	△ 705	266	△ 1,152
無形固定資産の取得による支出	△ 531	△ 112	418	△ 604
投資有価証券の取得による支出	△ 1,588	△ 1,398	189	△ 1,588
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,002	293	△ 709	1,002
その他	6	1	△ 4	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,180	777	3,958	△ 3,437
自己株式の取得による支出	△ 1	△ 1	0	△ 1
配当金の支払額	△ 735	△ 735	0	△ 735
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 737	△ 737	0	△ 737
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—	—	—
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△ 2,760	2,330	5,090	△ 760
現金及び現金同等物の期首残高	36,833	36,073	△ 760	36,833
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	34,073	38,404	4,330	36,073

対前年同期増減要因	
【たな卸資産の増減額、仕入債務の増減額】 《増減要因》・商品等仕入時期の差異	△ 429
【その他】 《減少要因》・未払金の減少	△ 204

(注) 現金及び現金同等物は、現金及び預金(預入期間が3ヶ月を超える定期預金を除く)、キャッシュ・マネジメント・システム預託金、有価証券(取得日から償還日迄の期間が3ヶ月を超えるものを除く)からなっております。

IV. 設備投資の状況

(単位:百万円)

	2007年 3月期 第3四半期	2008年3月期	
		第3四半期	対前年同期増減(率:%)
有形固定資産	782	978	196 (25.2)
無形固定資産	363	77	△ 285 (△ 78.5)
計	1,145	1,056	△ 88 (△ 7.7)

(単位:百万円)

2007年 3月期	2008年3月期予想	
		対前期増減(率:%)
880	1,364	483 (54.9)
441	165	△ 276 (△ 62.6)
1,322	1,529	207 (15.7)

(注1) 当社は、製品の品質向上と原価の低減及び業務の効率化を目的として設備投資を行っております。

(注2) 当期の有形固定資産に係る設備投資は、主として佐倉工場の製造設備への投資であります。また、無形固定資産の設備投資は、ソフトウェア等への投資であります。

【予想数値に関する注意事項】

本資料に記載しております予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおります。したがって、実際の業績は、様々な要素により、これらの予想数値とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

なお、現時点において、実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、以下の様な事項を挙げるすることができます。(かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。)

- ◇ 薬事法その他の法令または規制の変化
- ◇ 薬価の改定
- ◇ 副作用の発現
- ◇ 研究開発に関するリスク
- ◇ 特定の製品への高い依存度
- ◇ 製造の遅延または休止
- ◇ 訴訟等のリスク